

すべての拉致被害者の帰国を目指す！

1970年代から80年代を中心に多くの日本人が北朝鮮に拉致されました。日本政府は17名を拉致被害者として認定していますが、さらにこのほかにも拉致の可能性を排除できないケースがあります。

2002年9月に北朝鮮は日本人拉致を初めて認め、翌月、5名の拉致被害者が帰国しましたが、そのほかの被害者については、いまだ北朝鮮から安否に関する納得のいく説明はありません。

拉致問題は我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題です。拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はあり得ないとの方針を堅持し、拉致認定の有無にかかわらず、全ての拉致被害者の安全確保及び即時帰国のために全力を尽くします。

政府認定拉致被害者

日本政府は拉致被害者として、次の12件17名を認定しています。



写真提供：北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会

拉致の可能性を排除できない事案

北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案として警察が捜査・調査の対象としている行方不明者の数は875名(令和2年7月13日現在)に上ります。日本政府は、このような認識の下、国内外からの情報収集・捜査・調査を徹底して行っています。